
世界最高峰 320列エリアディテクターCTを導入！

**沼津市立病院で新しく導入したCT装置で
世界最高水準の検査を、受けていただけます。**

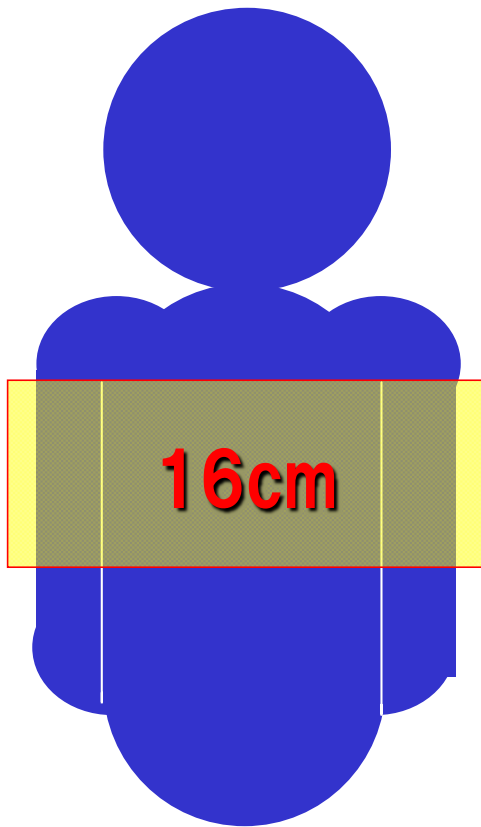
患者様がより安心できる高度な医療を目指して、検出器が320列ある世界最高峰の最新型コンピューター断層撮影装置（CT）を導入しました。

この装置の特長は、世界一広い320列の検出器を装備し、最大16センチの範囲をたった1回転（最短0.35秒）で撮影できます。従来のマルチスライスCT装置に比べ、撮影時間を飛躍的に短縮する事が可能になります。また、三次元画像の構築により心臓の冠状動脈血管を含む体内の病変や損傷をより鮮明に描出が可能であるとともに、急性期の脳梗塞の判断や小児・救急患者様への適応範囲も広がり、従来よりも少ない被ばく線量、少ない造影剤量で、患者様に安心して、質の高い検査ができるようになります。

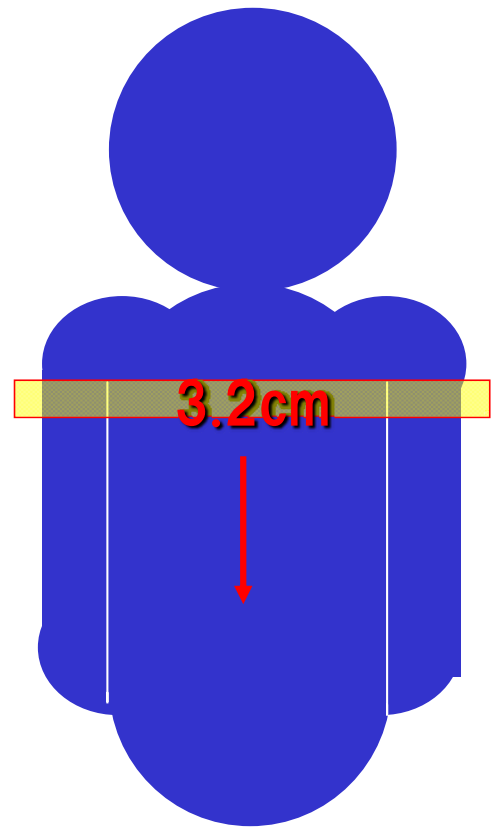


320列エリアディテクターCTとは?

今回導入した
320列エリアディテクターCT
16cmまるごと撮影



一般病院の
16列マルチスライスCT
3cmつつ撮影



この装置は身体の内を一度に16cm見ることができ、かつその間隔は0.5mm間隔です。

今までは細かく見るためには撮影時間が掛かってしまいました。結果的に被曝も多くなってしまいました。今回導入した最新鋭CT装置は16cmを撮影するのに最短わずか0.35秒。

頭部や心臓をはじめ、全身の各臓器でもあっという間に検査が終了します。勿論、被曝も少ない状態で検査を受けられますので、小児や高齢者の方をはじめ、すべての患者さまにとって大変有用な検査を実現します。

世界最高峰 320列エリアディテクターCTを導入！

最新鋭320列エリアディテクターCTの概要紹介



320列×0.5mmの高精細で、目的臓器(16cm)を、たった1回転で撮影することが可能です。

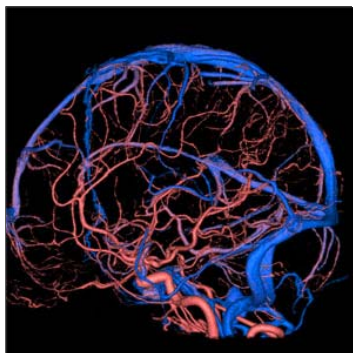
1回転の撮影は小児の撮影を瞬時に行えます。

また、寝台移動することなく、時相を追って撮影(ダイナミック撮影)することで、機能や動態など今までのCTにはできなかった検査が可能です。

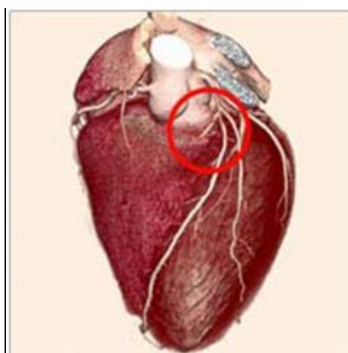
320列エリアディテクターCTの特長

1. 単位相の撮影であれば、1回転のスキャンで検査が終了します。
2. 複数の位相を撮影することで、アンギオ装置のような血管の流れの様子が把握できます。
3. 複数相撮影した画像を加算・減算することで、骨抜きが簡単に行えたり、複数時相の画像の重ね合わせや、フュージョンの融合など、様々な画像が得られます。
4. ヘリカル撮影によるタイムラグのあるスライスをつなぎ合わせたものとは異なり、広範囲をタイムラグなしで撮影したボリュームデータ。これを時系列に並べた動的解析により、機能診断が可能となります。
5. 心臓においては、同一心位相・同一造影時相で心臓全体を撮影することができます。
6. 検査による被ばくを低減、心臓検査では約1/4に低減可能です。
7. 撮影時間が短縮できるため、造影剤の低減が可能です。

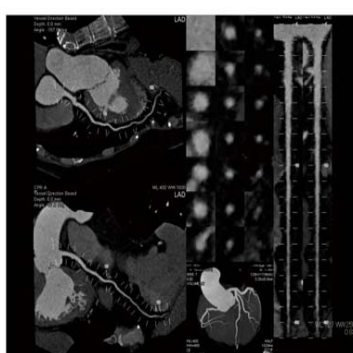
(CT検査の例)



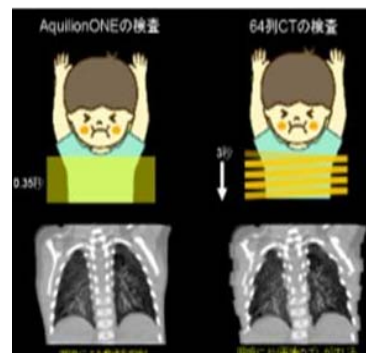
■頭部脳血管



■心臓全体像(0.35秒)



■心臓(冠動脈血管展開像)



■小児